

# 車体業界の市場動向

---

## 1. 車体工業会の現状

1-1 国内商用車販売状況

1-2 会員生産台数

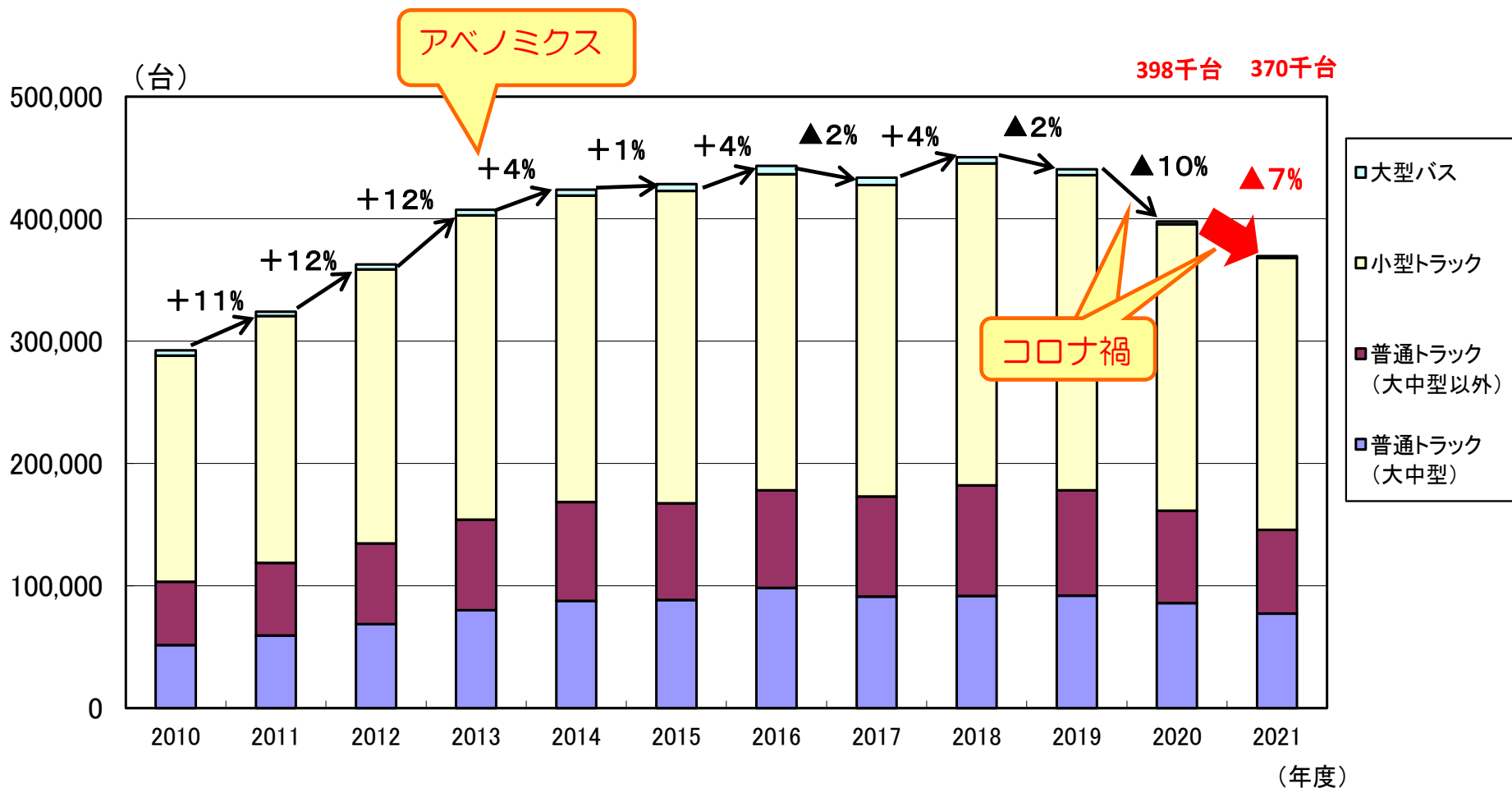
## 2. 取り巻く環境変化

- GDP成長率
- 貨物車保有台数
- 普通貨物平均使用年数
- 貨物輸送量
- 輸送分担率
- 生産/保有台数見通し

# 1. 車体工業会の現状

## 1-1 国内商用車販売台数推移

### 2021年度実績

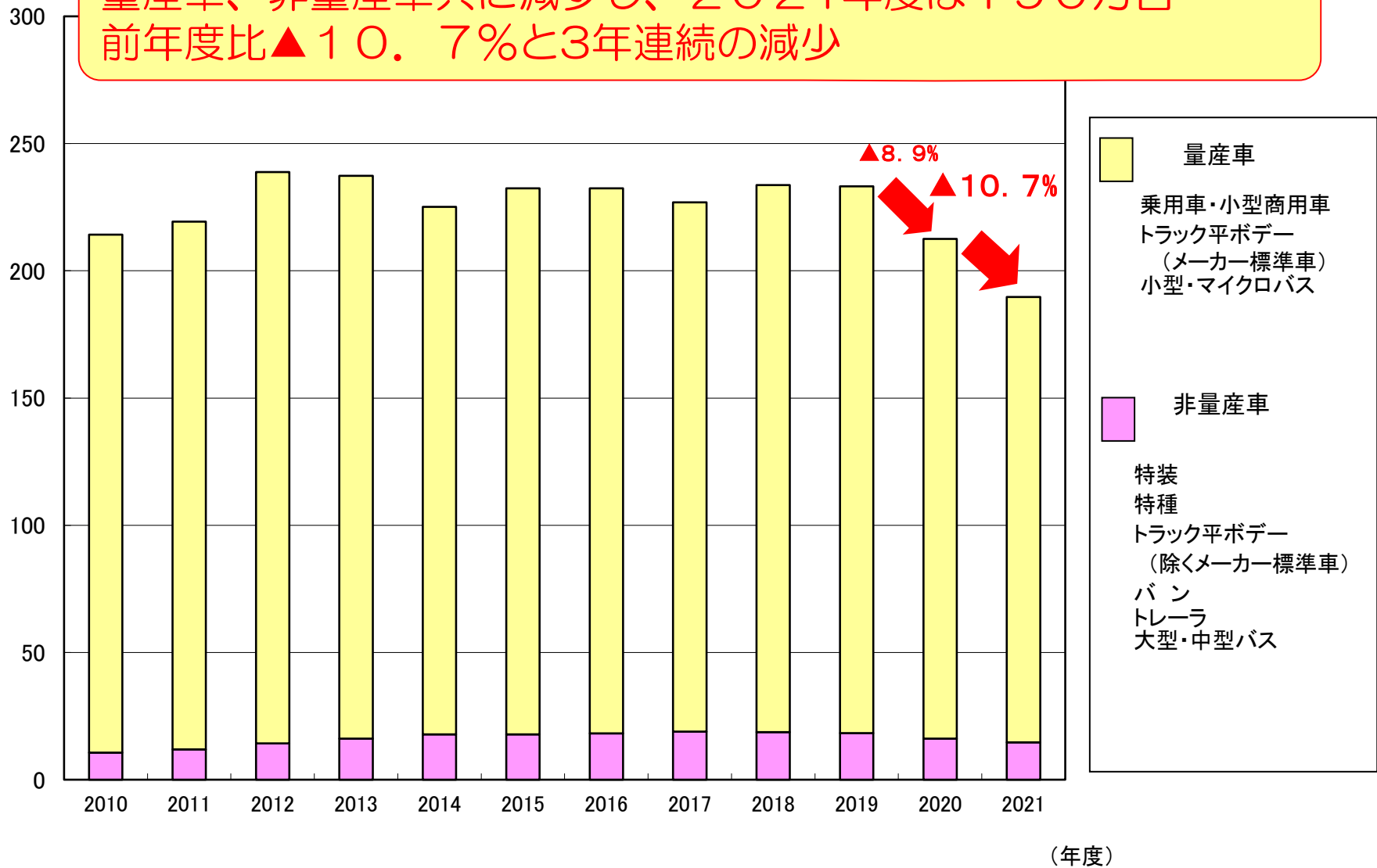


# 1. 車体工業会の現状

## 1-2 会員生産台数 ① 全体

(万台)

量産車、非量産車共に減少し、2021年度は190万台  
前年度比▲10.7%と3年連続の減少

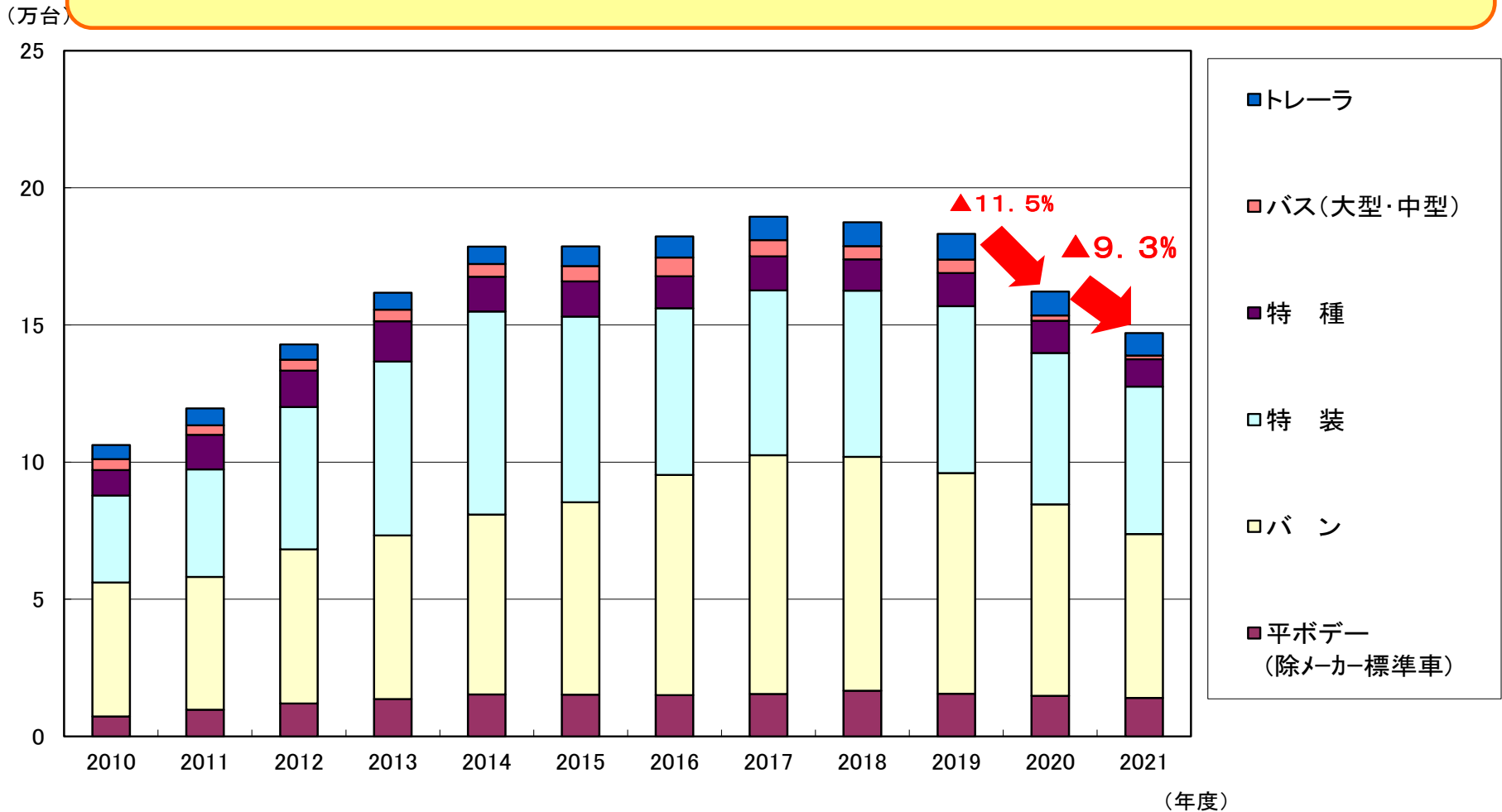


# 1. 車体業界の現状

## 1-2 会員生産台数

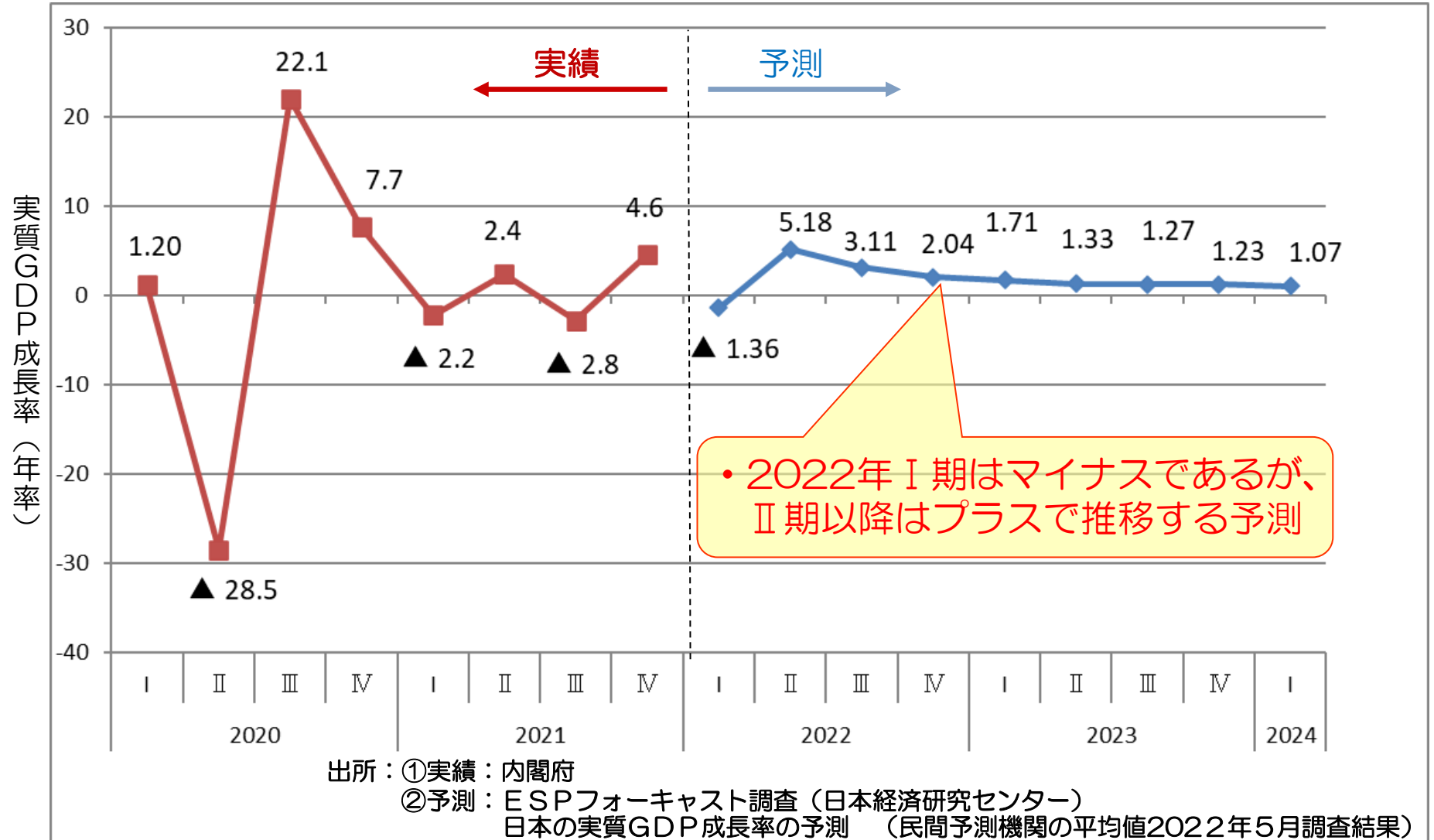
## ② 非量産車

- 2021年度は、全ての車種が減少し、前年度比▲9.3%と4年連続の減少

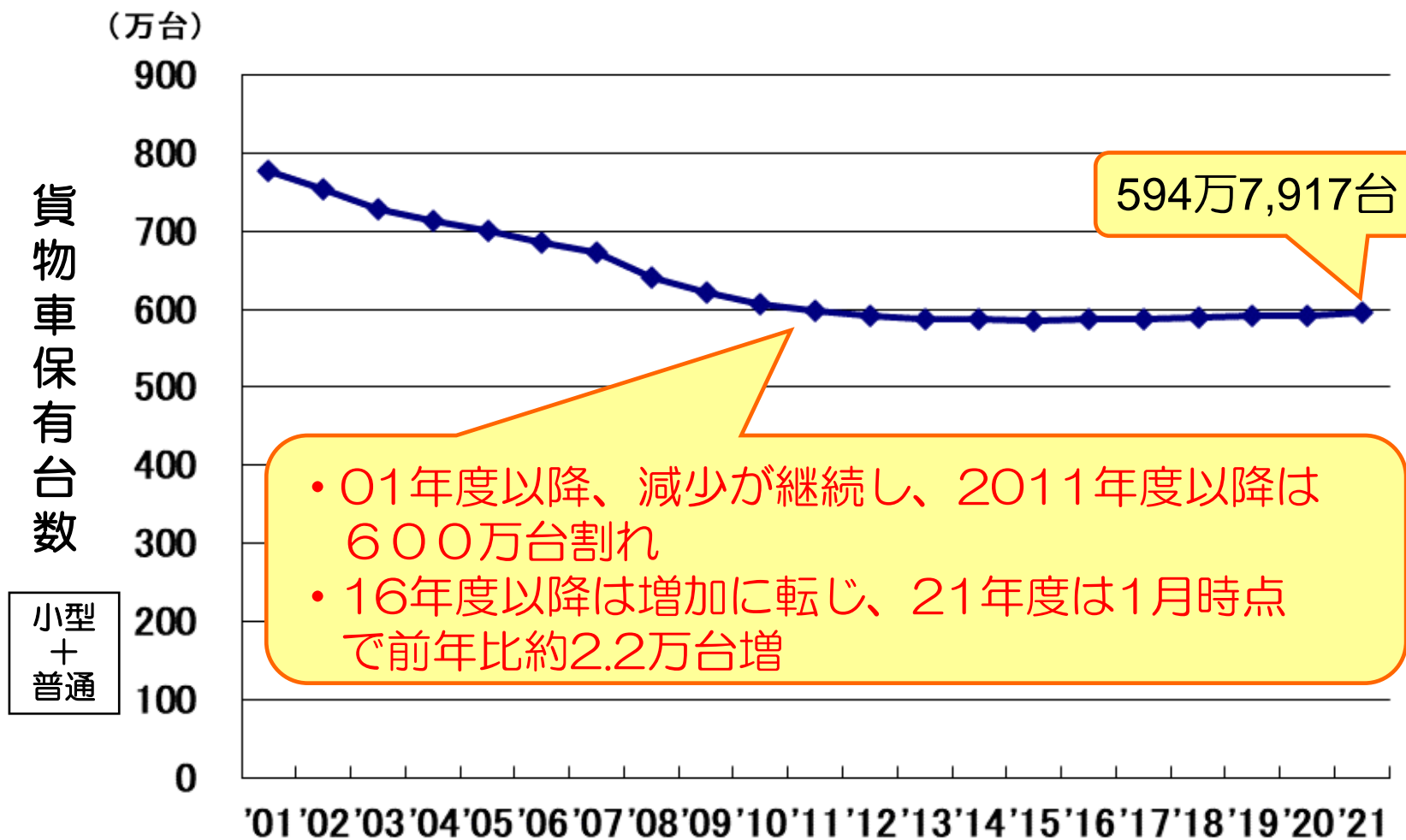


## 2. 取巻く環境変化

# GDP成長率



### 貨物車保有台数

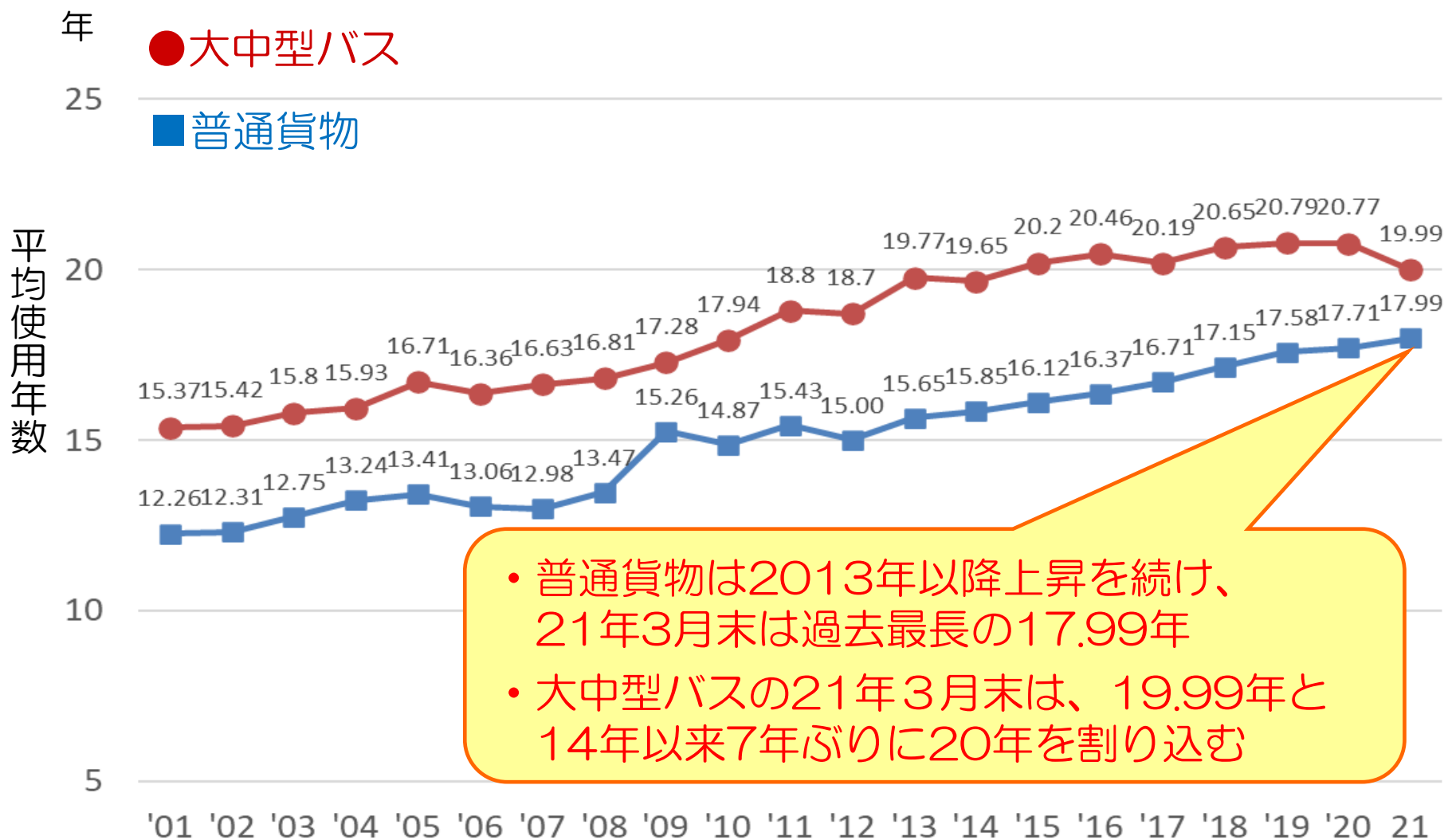


01～20年度は年度末／21年度は22年1月末

出所：自動車検査登録情報協会（自検協）

## 2. 取巻く環境変化

### 平均使用年数



- 普通貨物は2013年以降上昇を続け、21年3月末は過去最長の17.99年
- 大中型バスの21年3月末は、19.99年と14年以來7年ぶりに20年を割り込む

(各年3月末時点)

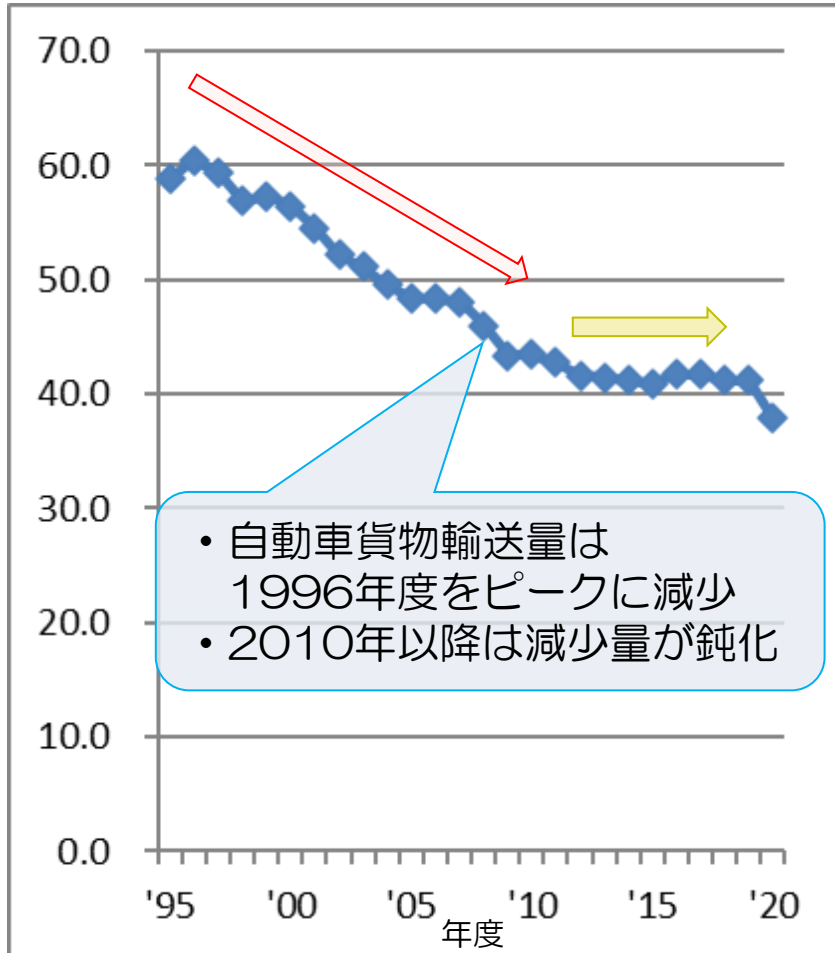
出所：(財)自動車検査登録情報協会

## 2. 取巻く環境変化

# 貨物輸送量

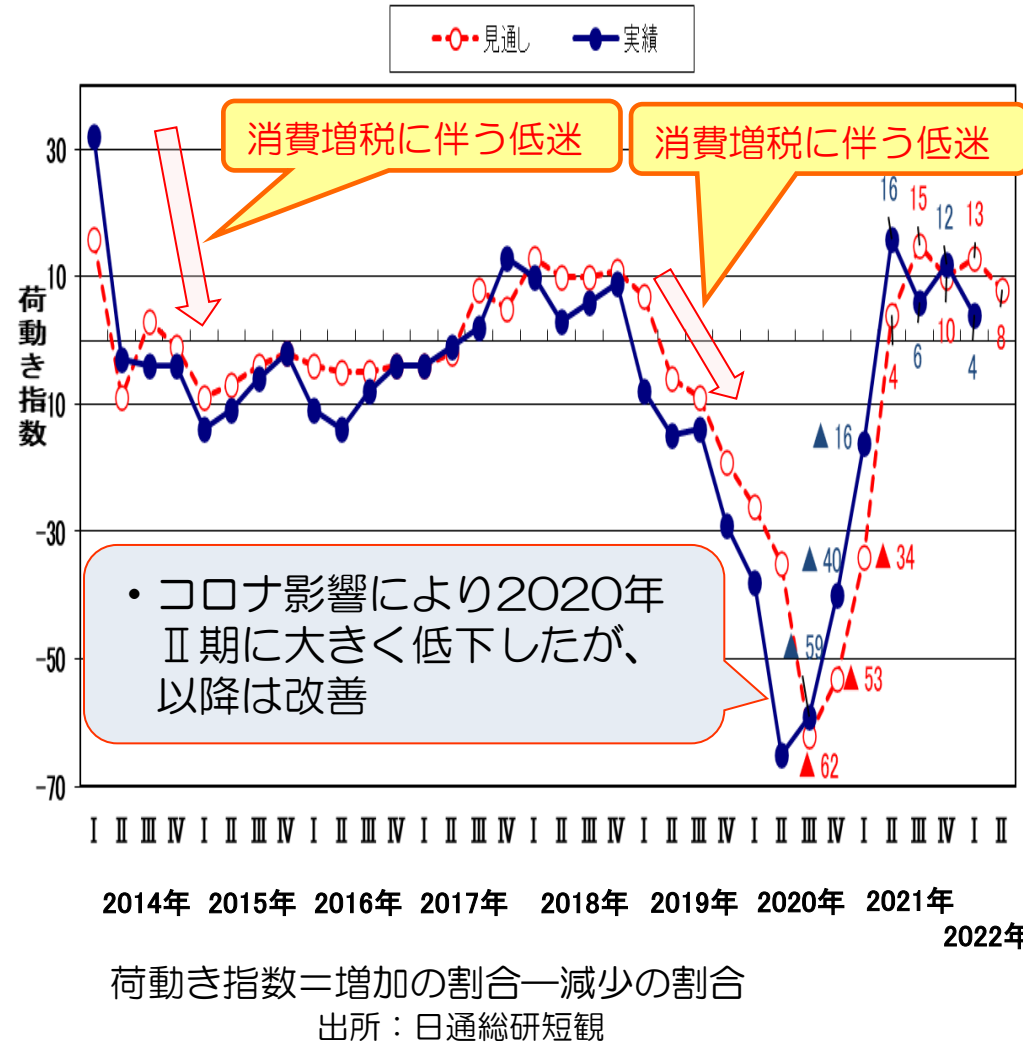
### <自動車貨物輸送量推移>

億トン



出所：国土交通省

### <貨物輸送量の見通しと実績>

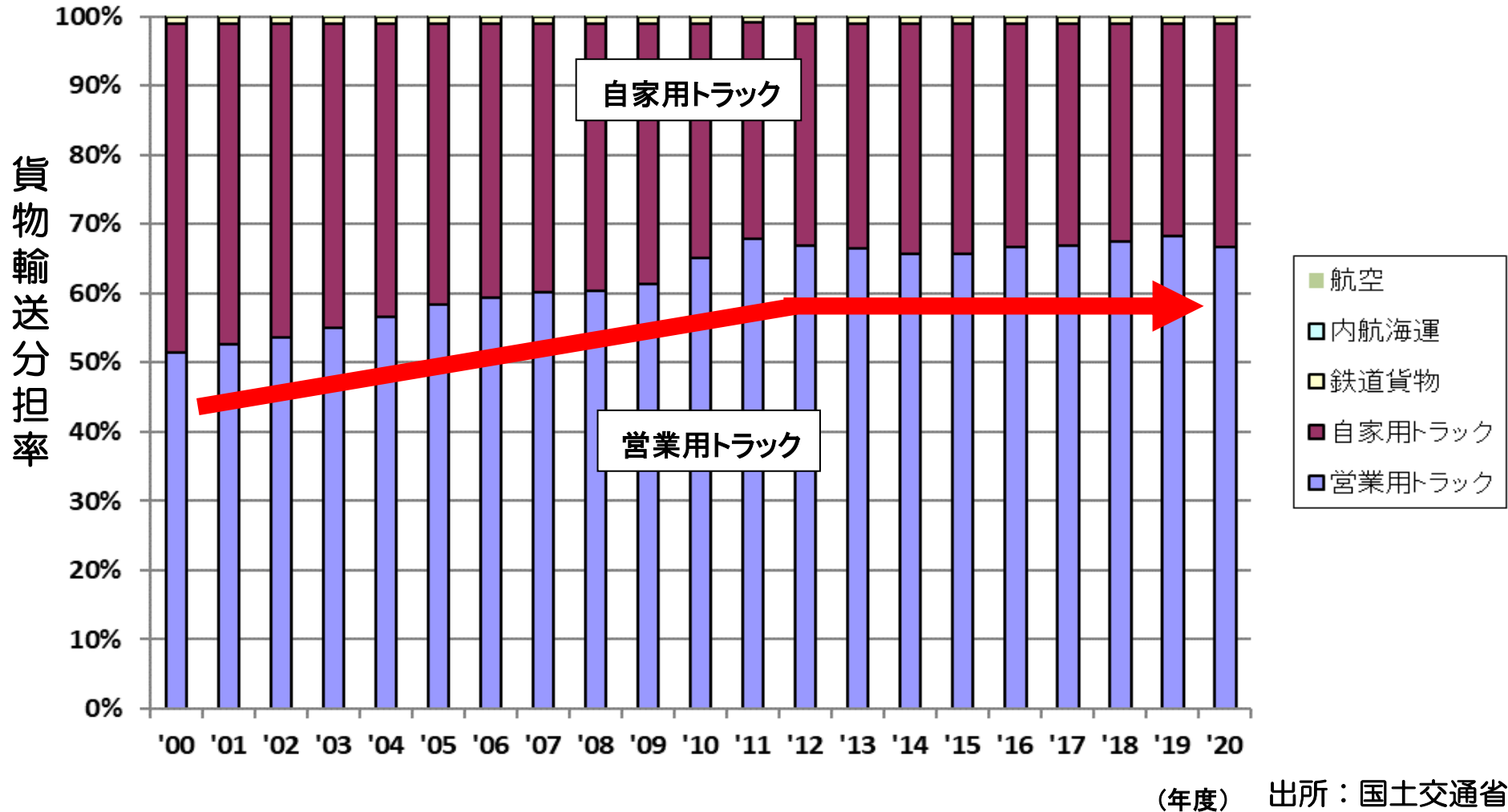




## 2. 取巻く環境変化

### 輸送分担率（輸送トン数）

- トラックの分担率は99%で推移。営業用・個人用比率は約7：3



## 2. 取巻く環境変化

### 生産／保有台数見通し

- 保有は下げ止まり、微増し600万台前後で推移の見込み
- 2003年から2007年の5年間（安定期）の平均代替は保有の約2.6%

◇新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、上記を前提に生産台数は増減を繰り返すものの、中長期的には  
**15万台/年程度で推移すると見込まれる**

